



ユーザーズマニュアル

PALM-SIZE COMPUTER

PT930

ご注意

本ユニットはリチウムイオン・バッテリーパックとリチウム・バックアップ・バッテリーを装着していますが、保存期間によってはバッテリーの放電のために電源が入らないことがあるかもしれません。

この場合、充電/通信ケーブルを本ユニットに差し込むか、本ユニットを PT093(9V/2A AC-DC アダプタを接続して)に置いて、リチウム・バックアップ・バッテリーを完全に充電するために約 14 から 16 時間かけて本ユニットを充電してください。(バックアップ・バッテリーを充電するために PT930 の電源を入れる必要はありません。)

バックアップ・バッテリーは外部電源あるいはメイン・バッテリーから(メイン・バッテリーに十分な電力が残っている場合)充電することができます。ですから、PT930 のメイン・バッテリーを十分に充電して、バックアップ・バッテリーを完全に充電するために 16 時間放置してください。

リチウム・バッテリーによるデータのバックアップは、バッテリー収納ケースにメイン・バッテリーを入れない場合はせいぜい 2 時間程度です。したがって、バックアップ・バッテリーによるデータ保護の失敗をなくすには、単三乾電池、あるいは充電可能なバッテリーパックの装着なしに、または AC 電源を接続しないで長い時間 PT930 を放置しないでください。

バッテリーの電圧が低下して PT930 が自動的に電源を切った場合、バッテリーがバッテリー収納ケースにある場合は、データを 48 時間バックアップします。

第 1 章	はじめに	5
1-1	PT930 とアクセサリ	6
1-2	PT930 の概要	7
	1-2-1 PT930 のフロントと左側面	7
	1-2-2 PT930 の背面	7
	1-2-3 充電/通信ケーブル	7
1-3	PT930 を使用する最初のステップ	8
1-4	PT930 をはじめて使う	9
	1-4-1 ON/OFF キーを押す	9
	1-4-2 スクリーン・コントラストの調整	10
	1-4-3 PT930 のキャリブレーション	10
	1-4-4 時差、日付と時刻のセット	10
第 2 章	技術的な仕様	13
2-1	CPU/メモリー	13
2-2	入力/出力	13
2-3	バーコード/シンボル	13
2-4	磁気ストライプリーダ (MSR モデル)	14
2-5	インターフェース・ポート	14
2-6	電源	14
2-7	OS とソフトウェア・プログラミング・ツール	15
2-8	物理特性と環境	15
2-9	充電/通信クレードル	16
第 3 章	キーボードとスキャナの使用法	18
3-1	ラバー・キーパッド	18
3-2	ソフトウェア・キーボード (Win CE キーボード)	19
	Windows CE キーボードを開く :	19
	文字の入力 :	19
	キーボードの移動 :	20
	キーボードを閉じる :	20
3-3	便利なホットキー	20
3-4	レーザ・スキャナの使用法	21

第 4 章	電源	22
4-1	リチウム・イオン電池の充電	22
4-2	電源ステータス表示	23
4-3	メイン・バッテリーとバックアップ・バッテリーの状 態のチェック	24
4-4	バッテリーの節約方法	26
4-5	充電について	28
4-6	過充電バッテリーの影響	28
4-7	保存と安全性についての注意	28
第 5 章	通信	29
第 6 章	便利なアプリケーション・プログラム	30
6-1	Bar2Key	30
6-2	BarSetup	31



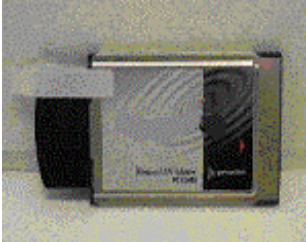


第1章 はじめに

PT930 シリーズは、頑丈で、コンパクト、そして軽量のパームサイズ・コンピュータです。本ユニットは Windows CE® オペレーティング・システムを採用し、内蔵のレーザ・スキャナ装置、MSR リーダー、IrDA インターフェース、そして無線通信機能を一体化することができます。本ユニットはカスタマイズや装置の操作については標準の Windows ベースの環境をユーザに提供いたします。PT930 は倉庫管理、運輸、配送、小売業、資産管理などの多数のデータ収集アプリケーションに良く適合しています。



1-1 PT930 とアクセサリ

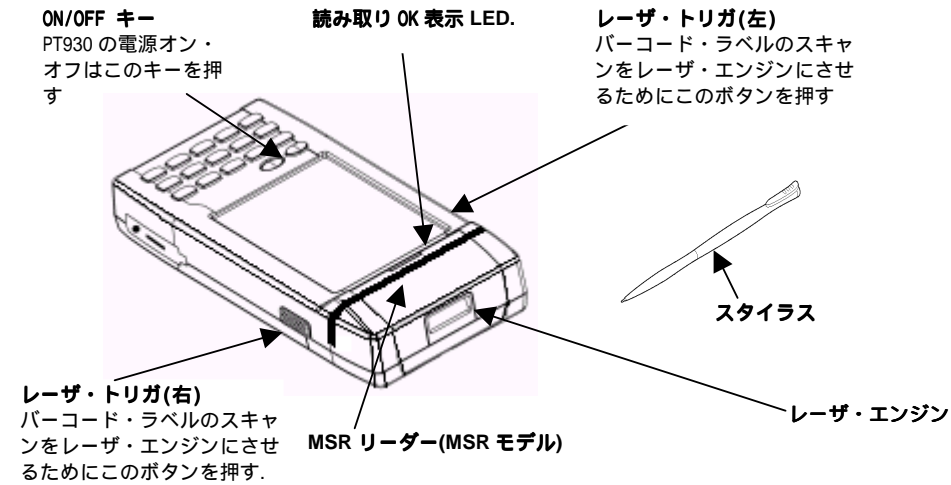
梱包箱を開けられたら、以下の PT930 付属品をご確認ください。

 <p>PT930 メインボディと スタイラスペン</p>	 <p>リチウム-イオン・バッテリー パック</p>
 <p>プリング-タグ PCMCIA カード引き抜き用^{*1}</p>	 <p>充電/通信ケーブル^{*1}</p>  <p>ゴム足 メインボディへの衝撃を回避^{*1}</p>

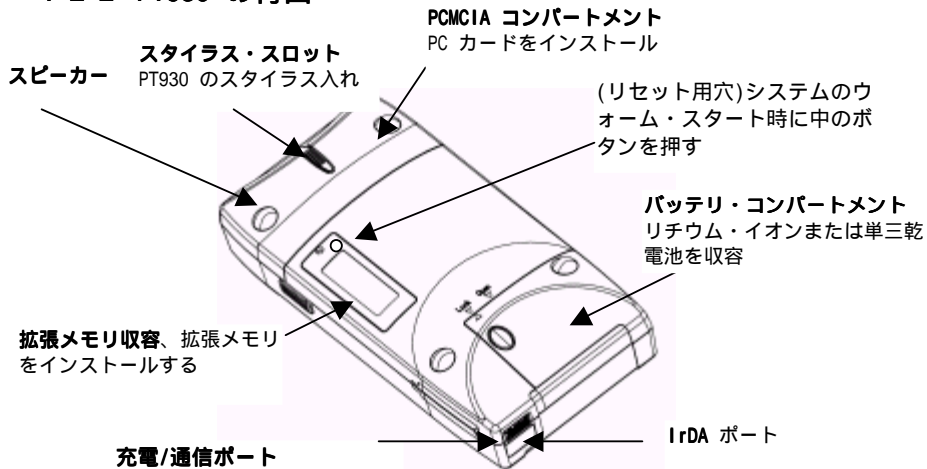
^{*1} 一部のモデルには付属しません。

1-2 PT930 の概要

1-2-1 PT930 のフロントと左側面



1-2-2 PT930 の背面



1-2-3 充電/通信ケーブル

PT930 接続用の DC ジャック付き DB-9 メス、RS232 コネクタ付きケーブル。

1-3 PT930 を使用する最初のステップ

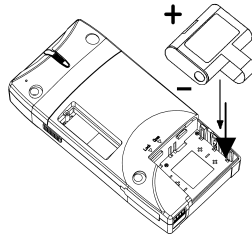
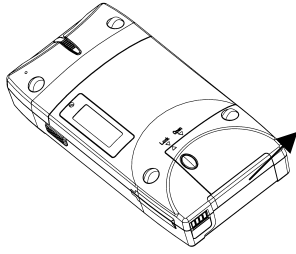
PT930 に電源を与えるには次の 3 つの方法があります: 1) 充電/通信ケーブル、2) 充電可能なリチウムイオン・バッテリーパック、3) 単三アルカリ乾電池。

注意: 入力したデータは内蔵のバックアップ・バッテリーが適当に再充電されるまで正しく保存されません。

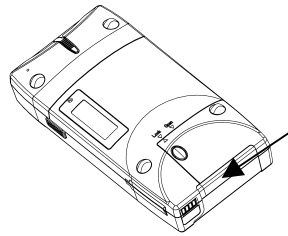
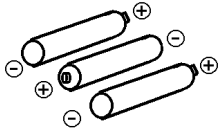
注意: 単三電池を入れた状態での充電は絶対に行わないでください。

注意: 充電可能なバッテリーパックを正しく装着しない場合には、バッテリー収容部の金属クリップを曲げたり、折ったりする原因となります。バッテリーパックの装着については以下の手順を注意深く読んで行ってください。

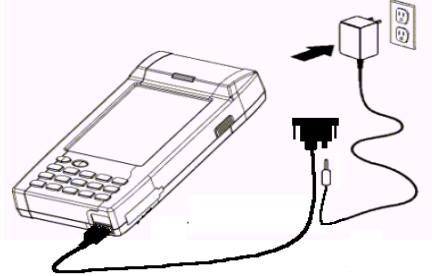
1. バッテリー収容部のカバーを外します。 2. バッテリーパックを図に示すようにバッテリー収容部に入れます。



3. あるいは単三乾電池を挿入します。 4. バッテリーのカバーを閉めます。



5. 9V/2A AC/DC アダプタのケーブルを充電/通信ケーブルに差し込みます。



1-4 PT930 をはじめて使う

1-4-1 ON/OFF キーを押す

PT930 の welcome スクリーンが現れます。しばらくすると Windows CE のスクリーンが現れます。



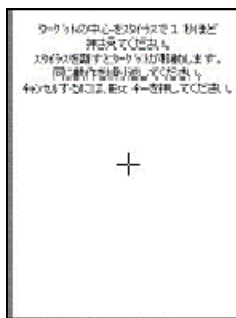
1-4-2 スクリーン・コントラストの調整

[FUNC]+[TAB] キーを押すか、[FUNC]+[] キーを押して、スクリーンのコントラストを調整してください。

1-4-3 PT930 のキャリブレーション

このスクリーンは最初に電源を入れたとき、あるいはシステム・リセットをした後で自動的に立ち上がります。ユーザはホットキー [FUNC] と [ESC] キーを同時に押すことによってもこのスクリーンを立ち上げることができます。

ここで、PT930 はスクリーンの指示する場所を連続してタップすることによってキャリブレーションするように求めます。やさしく、そして確実にタップしてください。一連のタップが終わったら、確認のために [ENT] キーを押すか、キャンセルするために [ESC] キーを押してください。



1-4-4 時差、日付と時刻のセット

PT930 のキャリブレーションの後で、“日付/時刻プロパティ” ダイアログ・ボックスが現れます。日付と時刻をセットするために以下のステップを行ってください。

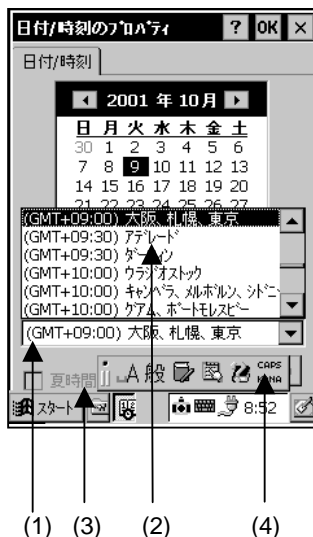


日付と時刻のセット

システム時刻は元の時刻ゾーンと選択した時刻ゾーンの差により自動的に調整されるので、正しい時刻ゾーンを最初にセットされることをお勧めします。

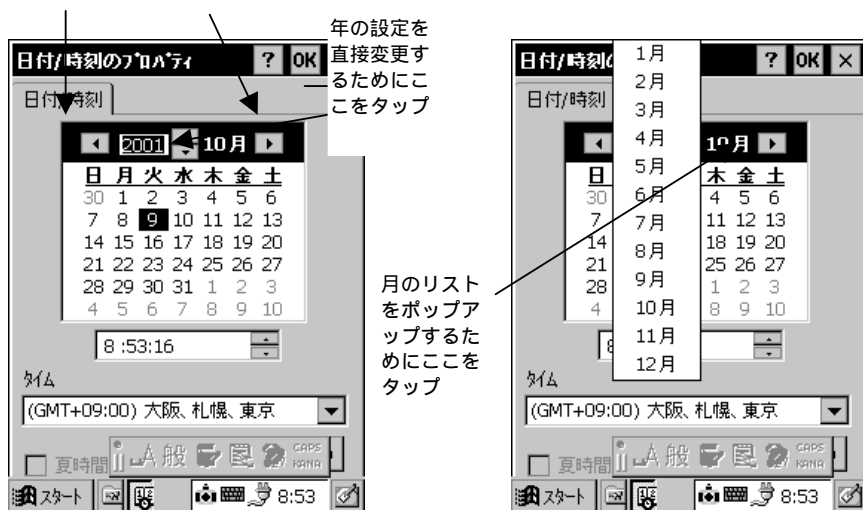
セットするには以下のステップを行ってください。

- (1) 都市リストを見るために場所の矢印をタップしてください。
- (2) 場所を選択 (あるいはリスト上の近い場所)
- (3) 必要なら夏時間をチェック
- (4) 適用ボタンをタップ



年と月をセット

左または右矢印をタップして月をスクロール



あるいは年または月の設定を変更するために年または月の場所を直接タップします。

日付 / 時刻プロパティ設定の終了

終了するには右上角の **OK** または **X** (キャンセル) ボタンを
タップします。

第2章 技術的な仕様

2-1 CPU/メモリー

CPU	92 MHz 32 bits MIPS CPU. リアルタイム・クロック内蔵.
Flash ROM	32MB、OS およびアプリケーション・プログラム
SDRAM	32 MB

2-2 入力/出力

キーボード 16 ラバーキー、0~9, BS, ENTER, TAB, DOT, ESC, FUNC を含む
ソフトウェア英数キーボード

オーディオ出力 圧電ブザーを音源として使用。ソフトウェアで音量調節可能

ディスプレイ 240 x 320 ピクセル、ポートレート・タイプ、4 グレイスケール、タッチスクリーン付き FSTN、EL バックライト。
ソフトウェア・ホットキーによりコントラスト調整可能

LED 表示 バーコード読み取り表示用に二色(緑/赤) LED

2-3 バーコード/シンボル

スキャン・エンジン

Symbol SE900 図 2.1 SE900 の DOF (読み取り深度)参照

- スキャン速度: 39±3 スキャン/秒
- スキャン角度: ±53°、通常状態から
- 最小印刷コントラスト: 25%、650 nm の絶対暗/明反射

- 消費電力: 65mA .@5V

シンボル Unitech の新世代デコーダチップを採用。
UPC-A/E, EAN-8/13, Codabar, Code 39, Full
ASCII Code 39, Code 93, I25, S25, EAN128, Code
32, DELTA LABEL, Plessy/MSI, Code 128, Code 11,
Telpen, TOSHIBA をサポート

2-4 磁気ストライプリーダ (MSR モデル)

トラック トリプルトラック
テープ PM50-7B (記録密度 210BPI)
速度 19 cm/sec (7.5 inch/sec)
寿命 300,000 パス

2-5 インターフェース・ポート

RS232 EIA RS232C IDC タイプ・コネクタ、全二重通信と
115.2K bps の転送速度をサポート。
IrDA IrDA 1.2 (SIR)対応。 転送速度最高 115.2K
bps.
PC カード PCMCIA Type II スロット。
RS232/充電ポート
充電と 115.2 Kbps までの EIA RS232C 全二重調歩
同期通信をサポート。

2-6 電源

メインバッテリー 単三アルカリ乾電池 @1.5V,1500 mAH 3 本または
リチウム・イオン @3.6V, 1550 mAH バッテリーパ
ック。
リチウム・イオン・バッテリーの場合は、充電/通信
ケーブルとクレードルを使用して約 3 時間でフル充
電。バッテリーパックは 500 サイクル以上充電可能。
**注意: 単三電池を入れた状態での充電は絶対に行わない
でください。**

バックアップ・バッテリー

電源管理 電源入力

データ・バックアップ用に1個の充電可能な3V、30mAh リチウム・イオン・バッテリー。
ステータスバーに電源のステータスを表示。
外部 AC/DC アダプタ @9VDC/2A、PT093 クレードル用充電・通信パッドポート (図 2.2 充電と通信ポートのピン配列参照)、PT930 がクイックチャージ・クレードルに置かれた場合、フル充電に約2.5時間必要。

消費電力

リチウム・イオン・バッテリー: 4V 時
スタンバイ・モード: 85 mA
サスペンド・モード: 3.1 mA
アルカリバッテリー: 4.75V 時
スタンバイ・モード: 34mA
サスペンド・モード: 560 uA

2-7 OS とソフトウェア・プログラミング・ツール

OS 開発言語

Microsoft Windows CE 3.0 日本語版
Microsoft Embedded Visual Tool for VB and VC programming

2-8 物理特性と環境

寸法

174mm(L) x 85mm(W) x 40mm (H).

重量

約 365g (バッテリーを含む).

温度

動作時: -5°C ~ 50°C .
保存時: -20°C ~ 70°C .

湿度

5% ~ 95% RH、結露ないこと.

落下

コンクリート床に 1.2メートルの高さからの落下に耐える.

ESD 保護

4KV DC コンタクト, 8KV DC エアー

2-9 充電/通信クレードル

インターフェース

PC/コンピュータ接続用に EIA RS232C IDC タイプ・コネクタ 1 個。

充電

PT930 の充電/RS232C 通信インターフェースを内蔵メインユニットの充電と通信パッド用に 12 ピンコネクタ。

約 3 時間のクイックチャージ。

注意: 単三電池を入れた状態での充電は絶対に行わないでください。

電源入力

AC/DC アダプタ @ 9 VDC/2A

図 2.1 SE900 の DOF (読み取り深度)

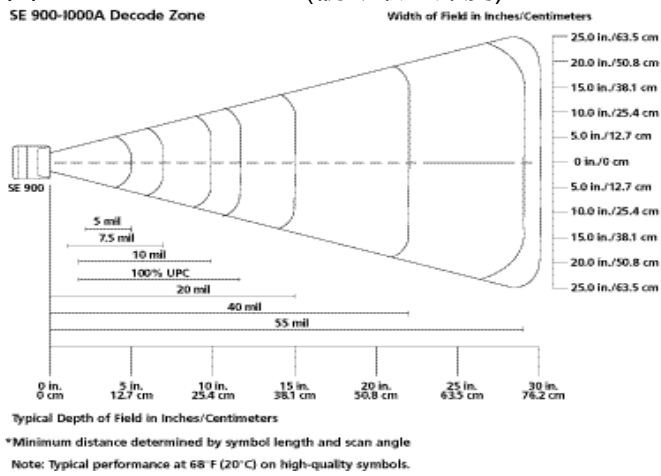
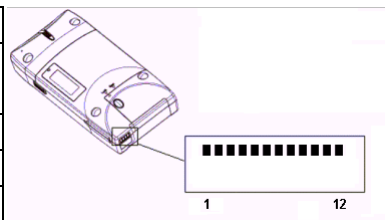


図 2.2 充電と通信ポートのピン配列

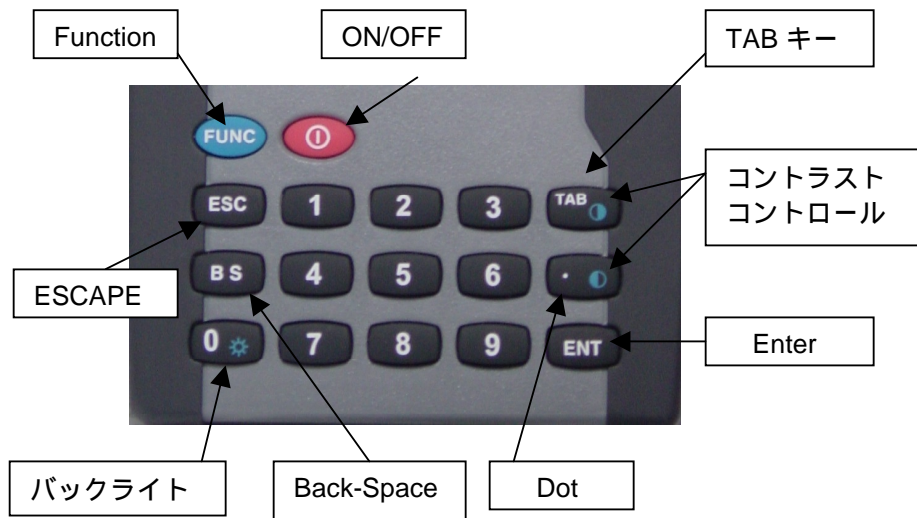
ピン	信号	説明
1	DCD	データ・キャリア・デテクト
2	RX	受信データ
3	TX	送信データ
4	DTR	データ・ターミナル・レディ
5	GND	信号グランド
6	DSR	データセット・レディ
7	RTS	リクエスト・ツー・センド
8	CTS	クリア・ツー・センド
9	RI	リング・インジケータ
10	Charge	4.2V 入力
11	GND	グランド
12	EXT	+9V 出力



第3章 キーボードとスキャナの使用法

3-1 ラバー・キーパッド

PT930 キーパッドは 0 から 9、ON/OFF、function(FUNC)、escape(ESC)、backspace(BS)と enter(ENT)キーを含む 17 のラバーキーがあります。以下の図をご覧ください。



ON/OFF 電源が入っていない時に、このキーを押すと電源が入ります。逆に、電源が入っている時に電源を切るには約 2 秒間このキーを押したままにします。

[ESC] このキーは CANCEL ボタンまたはタッチスクリーンの X ボタンをタップした時と同じ機能を実行します。

[BS] Back-Space キーは前に入力した文字を消すために使用します。

3-2 ソフトウェア・キーボード(Win CE キーボード)

PT930 のラバー・キーパッドは数字の入力だけしかできないので、Windows CE ソフトウェアは他の文字を入力するためにタッチスクリーン・キーボードを持っています。Windows ベースのキーボードは標準の PC キーボードのレイアウトと同じです。

Windows CE キーボードを開く：

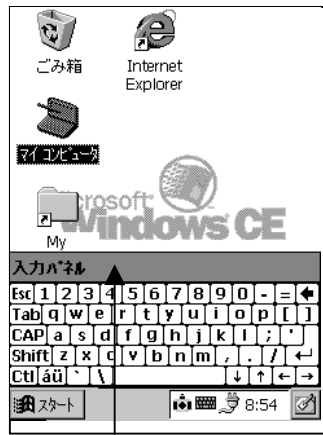
タスクバーの「キーボード」アイコンをダブルタップすることによって簡単に Windows CE キーボードを開くことができます。(下図をご覧ください)



ここを2回タップします

文字の入力：

「キーボード」アイコンをダブルタップした後で、Windows CE キーボードがポップアップします。文字入力は標準の PC と同じです。入力したい文字に対応するスクリーン上のボタンを単にタップしてください。



タイトルバー

キーボードの移動：

タイトルバー(入力パネルと表示されている)を指すためにスタイラスを使用してください。そしてスクリーンから離さずにスタイラスを移動してください。

キーボードを閉じる：

Windows CE キーボードを閉じるにはキーボード・アイコンをダブルタップしてください。

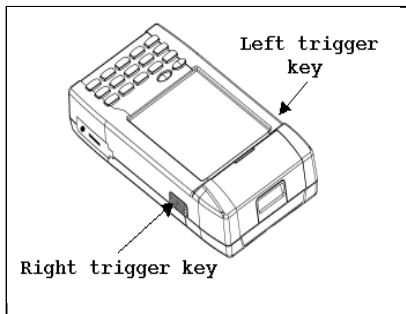
3-3 便利なホットキー

PT930 は指定されたスクリーン設定機能やプログラムを起動する 6 つのホットキーを持っています。これらのホットキーは、メニューの操作ができない場合や故障時にタッチスクリーンのキャリブレーション、バックライトのオン・オフ、スクリーン・コントラストの調整などに便利です。以下はホットキーのリストです。 これらを使用するには、対応するキーと [FUNC] キーを同時に押します。

[FUNC] + [ESC]	PT930 のタッチスクリーンを調整。(第 1 章の1-4-3を参照してください。).
[FUNC] + [TAB]	スクリーン・コントラストを下げる。
[FUNC] + []	スクリーン・コントラストを上げる。
[FUNC] + [0]	スクリーン・バックライトをオン・オフ。
[FUNC] + [6]	タスク・マネージャ
[FUNC] + [9]	システム情報

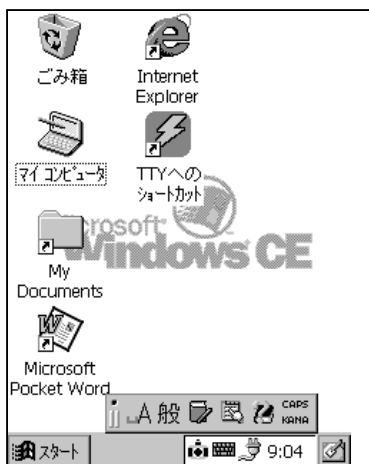
3-4 レーザ・スキャナの使用法

PT930 はレーザ・スキャナとほとんどの主要なバーコード・ラベルを性能良く読みとることができる新世代デコーダチップを内蔵しています。



右側と左側に二つのトリガ・キーがあります。レーザ・スキャナを起動するにはいずれかのトリガ・キーを押してください。

PT930 はバーコード・スキャンの機能をテストするために使用することができる TTY.EXE プログラムも用意されています。TTY.EXE は¥WINDOWS ディレクトリにあり、デスクトップのショートカットよりアクセスすることもできます。



第4章 電源

4-1 リチウム・イオン電池の充電

オプションの充電/通信クレードル(ドッキング・ステーション) PT093 は、PT930 の日常の使用に便利なアクセサリーです。クレードルは約 3 時間でリチウム・イオン・バッテリー・パックを完全に充電することのできる回路が組み込まれています。充電/通信ケーブルに充電回路があり、バッテリーパックの充電時間は約 3 時間です。

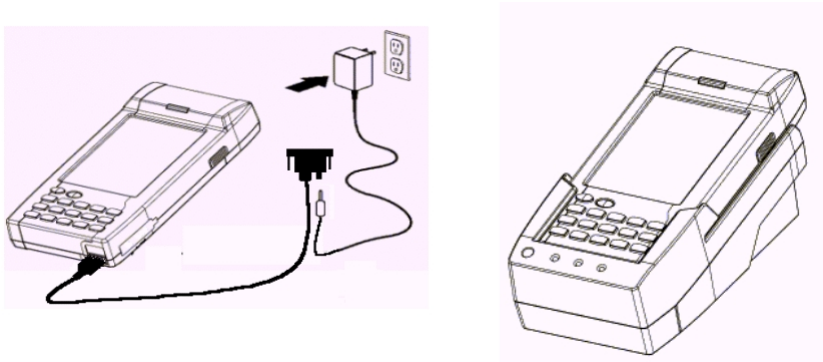


図. 4.1 充電/通信ケーブル(左)、クレードル(右)

注意: リチウム・バッテリーによるデータのバックアップは、バッテリー・コンパートメントにメイン・バッテリーがない場合には、おおよそ 2 時間です。したがって、バックアップ・バッテリーによるデータ保護の失敗を避けるためには、単三乾電池や充電可能なバッテリーなしで、あるいは外部の AC 電源を接続しないで PT930 を放置しないでください。

バッテリー電圧が低いために自動的に電源が切られた場合、データのバックアップは約 48 時間行われますが、バッテリーはバッテリー収容部に入れたままでなければなりません。

4-2 電源ステータス表示

電源状態を表すためにステータスバーに表示される 4 種類のアイコンがあります。

“Plug” アイコン: これが表示された場合、このアイコンはバッテリーを充電中であることを示しています。PT930 は DC 9V/2A 電源アダプタを通してあるいはクレードルに置かれています。



Plug アイコン

“Power Low” (少ない) アイコン: これが表示された場合、バッテリーの電圧が低下し、充電する必要があります。言い換えると、外部電源がなく、バッテリーの容量が少なくなり、PT930 の充電が必要であることを示しています。

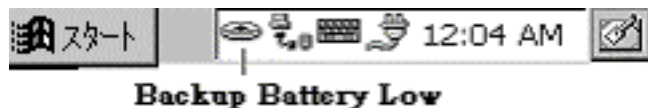
“Power Very Low” (残りわずか) アイコン: これが表示された場合、バッテリーの電圧は大変低くなっており、使用をすぐにやめて PT930 を充電してください。



「残りわずか」アイコン

アイコンなし: 外部電源が PT930 には接続されていないが、バッテリーの電源状態が良いことを示しています。

“Backup Low” アイコン: これが表示された場合、バックアップ・バッテリーの電圧が低下し、充電の必要があることを示しています。



“Backup very low” アイコン: これが表示された場合、バックアップ・バッテリーの電圧が極めて低下していますので、使用をすぐにやめて充電することをお勧めします。

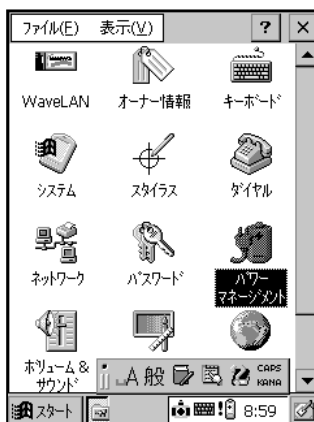


4-3 メイン・バッテリーとバックアップ・バッテリーの状態のチェック

“パワーマネージメントのプロパティ”に入る:

上記で説明した“Plug”アイコンまたは“Battery”アイコンが表示された場合、“パワーマネージメントのプロパティ”スクリーンを立ち上げるためにこのアイコンを直接ダブルタップすることができます。

あるいは、スタートメニューから設定/コントロールパネルを選択し、“パワーマネージメントのプロパティ”



をポップアップするために”パワーマネージメント”アイコンをダブルタップします。

確認: バッテリメニューの項目は、メインとバックアップのバッテリーの状態を示します。3種類のステータス表示

- “OK”、“少ない”そして“残りわずか”があります。太字は実際のステータスで、例えば右の図 4.3 で、これは、メインは外部電源から、バックアップのバッテリーは OKであることを示しています。

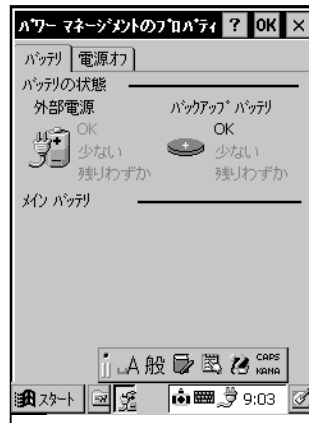
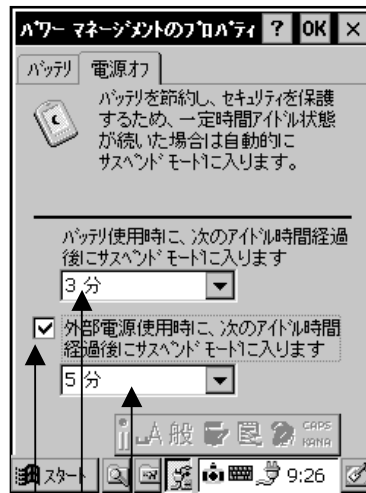


図. 4.3

“少ない” または “残りわずか” が太字の場合はバッテリーの充電が必要です。充電後も“少ない”あるいは“残りわずか”が表示される場合は、ご購入の代理店にご相談ください。

4-4 バッテリーの節約方法

PT930の自動シャットダウン: PT930はタスクがないか、すべてのタスクが入力待ちの場合アイドル・モードに入ります。標準設定では、PT930は外部充電の電源がない場合には、3分間アイドルの状態の時に自動的に電源を切ります。電源が入ったときは、自動的にシャットダウンした時点と同じポイントに戻ります。



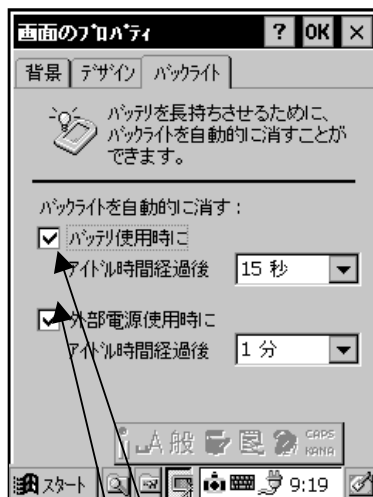
- (1)時間のリストから選択するために矢印をタップして自動シャットオフの時間を設定することができます。選択できる時間は1, 2, 3, 4と5分です。ユーザは PT930 に電源アダプタが接続されているか、クレードルに置かれている場合に、この機能を働かせることもできます。
- (2)チェックボックスをタップ。
- (3)時間を選択するために矢印をタップします。選択可能な時間は1, 2, 5, 10, 15と30分です。

バックライトの設定: LCD バックライトの消費電力が大きいので、必要ないならバックライトの機能をオフにしてください。バックライトが必要なら、“バックライトを自動的に消す”の機能をセットしてください。

スタートメニューから設定/コントロールパネルを選択し、そして“画面”アイコンをダブルタップし、バックライトの設定を右のスクリーンを見て行ってください。

“バックライト”のメニュー項目をタップすると、以下の2つの選択項目が現れます。

- (1) **バッテリー使用時にバックライトを自動的に消す:** この機能をトグルするにはチェックボックスをタップしてください。選択可能なアイドル時間は15/30秒、1分、2分と5分です。
- (2) **外部電源使用時にバックライトを自動的に消す:** この機能をトグルするにはチェックボックスをタップしてください。選択可能なアイドル時間は15/30秒、1分、2/5/10/15/30分です。



(1) (2)

4-5 充電について

リチウム・イオン・バッテリー・パックを充電する場合は常に周囲温度を考慮することが重要です。充電のプロセスは通常の室温や、やや涼しいところで最も効率的です。0°C から 45°C の範囲でバッテリーを充電することが基本です。指定された範囲外での充電はバッテリーを損傷し、充電の寿命が短くなります。

4-6 過充電バッテリーの影響

過充電はリチウム・イオン・バッテリーが完全充電後に充電された場合に起こりますが、トリクル充電で充電が行われるので過充電の心配はありません。

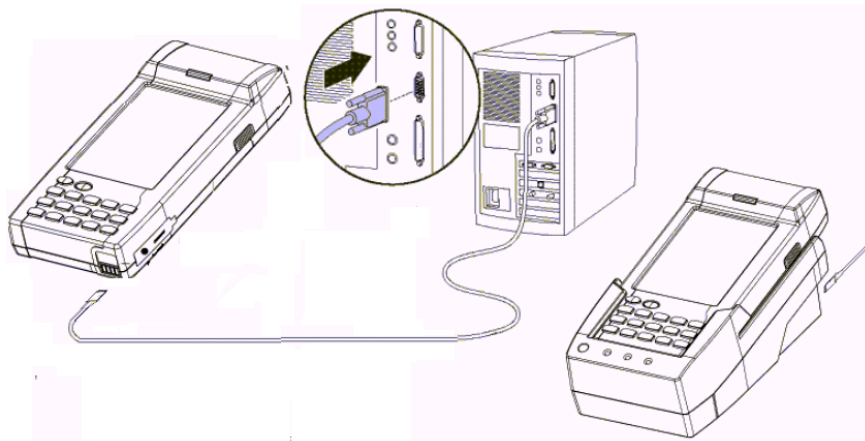
4-7 保存と安全性についての注意

充電されたリチウム・イオン・バッテリーは数ヶ月使用しないままに置くことができますが、その容量はバックアップと内部抵抗のために減っていきます。この場合、使用する前に充電する必要があります。リチウムイオン・バッテリーは -20°C から 70°C の間の温度で保存することができますが、この範囲の高いところではより早く消耗します。通常室温でバッテリーを保存されることをお勧めいたします。

注意: 単三電池を入れた状態での充電は絶対に行わないでください。

第5章 通信

PT930 はデータ通信用に RS-232C、IrDA、モデム、Ethernet または RF 接続を経由してホストコンピュータとリンクすることができます。(通信手順と必要なソフトウェアの詳細な情報については、PT930 テクニカル・バインダー をご覧ください)。



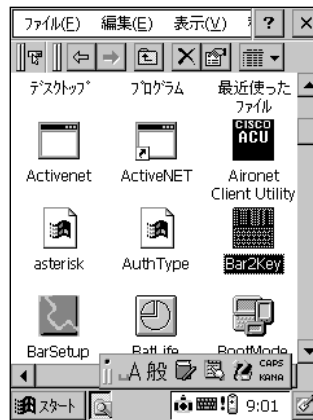
第6章 便利なアプリケーション・プログラム

6-1 Bar2Key

PT930 では、組み込まれたスキャナは COM3 ポートに接続されています。ですから、アプリケーションはユニテック社のスキャナ DLL ライブラリ (DLL ライブラリの詳細な機能は、PT930 プログラミング・マニュアルをご覧ください。) を呼ばなければなりません。しかし、ユーザのアプリケーション・プログラムにスキャンしたデータを得るのは容易ではありません。特に、アプリケーションがサード・パーティによって提供されているものは、そのソース・プログラムを変更することはできません。

"Bar2Key.exe" はアプリケーション・プログラム上でスキャンするデータを得るための便利なツールです。このプログラムが実行中に、すべてのスキャンしたデータは標準のキーボード入力バッファに読み込まれます。別な言葉で言うと、スキャンしたデータはキーボード入力として扱われるということです。ですから、アプリケーション・プログラムはキーボード入力のようにスキャンされたデータを扱うことができます。

"Bar2Key.EXE" は Windows フォルダにあります。これを実行した後で、バーコード・アイコンがタスクバーに現れます。そしてバーコード・ラベルをスキャンするためにスキャナ・トリガ・キーを押すことができます。

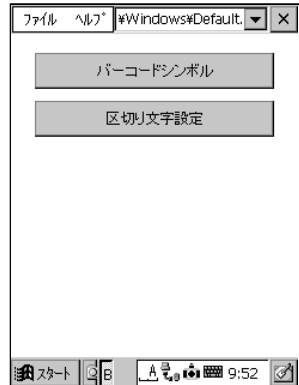


バーコードをやめるには、タスクバー上のバーコード・アイコンをダブルタップして、Exit ボタンをタップします。

バーコード・シンボル設定の詳細については、次のセクションをご覧ください。

6-2 BarSetup

アプリケーションによっては、標準のバーコード・シンボルの設定を変更する必要があります。BarSetup はスキャナ・データの後の区切り文字(デリミタ文字)についてのシンボルの標準値を変更して、設定を保存することができます。



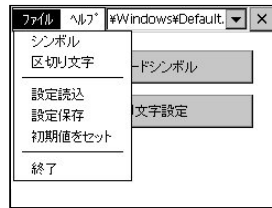
ユーザは#Windows#BarSetup.exe からこのプログラムを実行することができ、そして二つのボタン"バーコードシンボル"と "区切り文字設定"が表示されます。

- **バーコードシンボル**：ユーザは各シンボルをカスタマイズすることができます。

シンボル	使用可能/ 使用不可	チェックデ ジット送信	Maxi/Mini (最大/最 小長)	先頭デジ ット送信	その他
Code 39	Yes	Yes	Yes		全 ASCII スタートとストップ文字送信
I 2 of 5	Yes	Yes	Yes		スタートとストップ文字送信 固定長
S25/Toshiba	Yes	Yes	Yes		固定長
Code 32	Yes				先頭コード送信 末尾コード送信
TeI pen	Yes				文字セット
EAN128	Yes				
Code128	Yes		Yes		
MSI/Plessey	Yes	Yes	Yes		チェックデジットモジュール
Code93	Yes		Yes		
Code11	Yes	Yes	Yes		1 / 2 チェックデジット
CodaBar	Yes	Yes	Yes		スタートとストップ文字送信 CLSI フォーマットオン
Label Code	Yes	Yes			
UPC-A	Yes	Yes		Yes	
UPC-E	Yes	Yes		Yes	ゼロ表示オン NSC 使用可能
EAN13	Yes	Yes		Yes	ブックランド使用可能
EAN8	Yes	Yes		Yes	
Supplement					サブリメント 2 サブリメント 5 スペース文字挿入 あれば送信/必ず送信
Delta Code	Yes	Yes			チェックデジット計算

- **区切り文字**：なし、タブ、CR、LF、CRLF、カンマ

ユーザは事前設定ファイル(*.b2k)に個々の設定を定義して、それぞれの目的に応じて事前定義の設定をダイナミックに読み込むことができます。また、ユーザは標準の設定値を読み込むことができます。



警告

本製品は FCC Part 15 Class B 製品であり、米国内の環境に於いては、ユーザが適当な測定を必要とするかもしれない無線干渉が発生することがあります。

注意

単三電池を入れた状態での充電は絶対に行わないでください。

オリジナル V1.0 2001/Oct.

日本語訳 2001/10/9

日本語訳改訂 2001/11/08